

八広小学校の改築計画の概要について

1 経緯

八広小学校については、令和2年度に策定した「墨田区学校施設長寿命化計画」に基づく改築を予定しており、「墨田区基本計画」の主要な公共施設等整備事業にも位置付けられている。

令和6年度からコンストラクション・マネジメント（CM）を委託して事業者とともに改築の条件整理を進めており、今後、プロポーザル方式により設計業者を選定する。

2 改築手法

- (1) 既存校舎で学校運営を続けながら敷地内に新校舎を建設する。新校舎建設後に学校機能を移転し、既存校舎を解体する。
- (2) 新校舎の建物面積をより広く確保するため、曳舟川通り沿いのプール棟及び幼稚園舎を解体し、その跡地を有効に活用する。（別紙参照）

3 スケジュール

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| (1) 新校舎設計（基本設計及び実施設計） | 令和6年度から令和8年度まで |
| (2) プール棟及び幼稚園舎の解体（設計及び工事） | 令和6年度及び令和7年度 |
| (3) 新校舎建設、移転、新校舎供用開始 | 令和8年度から令和11年度まで |
| (4) 既存校舎(※)の解体設計、プール棟設計、校庭設計 | 令和10年度 |
| (5) 既存校舎の解体、プール棟建設、校庭整備 | 令和11年度以降 |

（※）増築部分を含む。

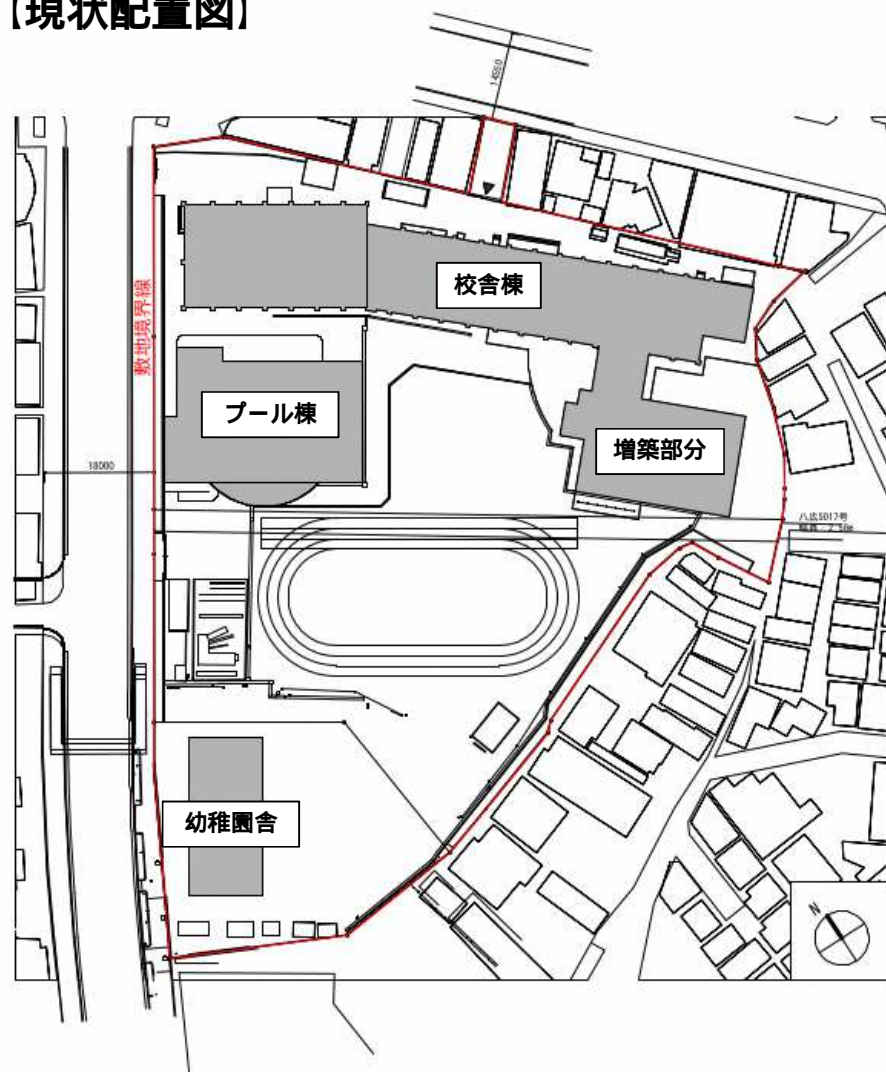
4 新校舎の想定規模と想定工事費

- (1) 想定規模：延べ面積 7,700 m²程度（教室数の増、給食室の拡大等）
- (2) 想定工事費：64 億 2 千万円程度（現時点の想定工事費。発注時は実勢を工事費に反映）

5 その他

- (1) 学校運営や子どもたちの学習環境に配慮し、解体工事及び建設工事の際の騒音・振動対策、安全対策等について、適切な対策を講じる。
- (2) 改築事業の進め方や学校運営への影響について、保護者、地域等に丁寧に説明を行いながら進める。
- (3) CM 事業者の支援を受けながら、定期的にコスト管理を行うなど、コストコントロールを重視して設計を進める。
- (4) プール棟に関しては、既存校舎解体後に建設を想定しているため、規模や構造については継続して検討を進める。

【現状配置図】



【改築後イメージ図】

